

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき
高梁川流域ゆかりの
偉人・賢人特集

- かつやく 活躍した年: 1758～1831年
- かつやく 活躍した分野: 国学者、教育者
- ゆかりのある場所等: •敬業館の跡
•西山拙斎



こでら きよさき 小寺 清先

新高 総早倉矢井浅里
見梁社島敷掛原口庄
市市市町市市市市市町

笠岡市



こでらきよさき かんえいがん
小寺清先は、寛延元（1748）年、笠岡村の陣屋稻荷（今の笠岡小学校の裏山にある）
の神主の子として生まれました。

きょうと うらべし しんどう わか ちょうげつ まな
京都でト部氏に神道を、和歌を澄月に学びました。家の仕事を継ぎましたが、後に長男の
きよゆき かんぬし
清之に神主をゆずりました。

かんせい
寛政10（1798）年、笠岡に郷学「敬業館」という学校がつくられた時に、笠岡代官
はやかわはちろうざえもん
の早川八郎左衛門によって初代教授に任命され、子弟の教育に努めました。

めいせい した びぜん ひんご あき ながと ぶんご とお くに まな もの あとす
その名聲を慕って、備前・備後・安芸・長門・豊後など遠くの国から学ぶ者がたくさん訪
つた おだ じょうひん せいかく かもがた にしやませっさい かんべ かんぢゃざん
れたと伝えられています。また、穏やかで上品な性格で、鴨方の西山拙斎、神辺の菅茶山ら
きんりん ぶんじん した こうりゅう
近隣の文人とも親しく交流がありました。

きよさき ぶんせい
清先は、文政10（1827）年、80才で亡くなるまで、30年近くも敬業館で教育に
つ
尽くしました。

けいきょうかん かいこう
敬業館は開校して80年あまりもの長い間、笠岡地方の学問の中心として大きな役割をは
げんざい あとち かさおかし しせき
たしました。現在、その跡地は笠岡市の史跡となっており、塾舎（生徒の宿舎）の建物が、
しりょう て ふくげん
資料を手がかりに復元されています。また、その裏手には、早川代官の「思徳之碑」と並んで、
こでらきよさき とくたた せいえんせんせいのひ のこ
小寺清先の徳を讃えた「楳園先生之碑」が残っています。